

The logo features a stylized 'IE' in black with blue vertical bars on the left and right sides of the 'I' and 'E' respectively. Below this, the word 'ORION-IE' is written in a bold, black, sans-serif font, with the 'IE' part of the word matching the stylized 'IE' above it.

ORION-IE

通信放送融合型IPデータデータキャスト
送受信ソリューション
ORION-IE シリーズ

ご案内

通信・放送融合型IPデータキャスト送受信ソリューション

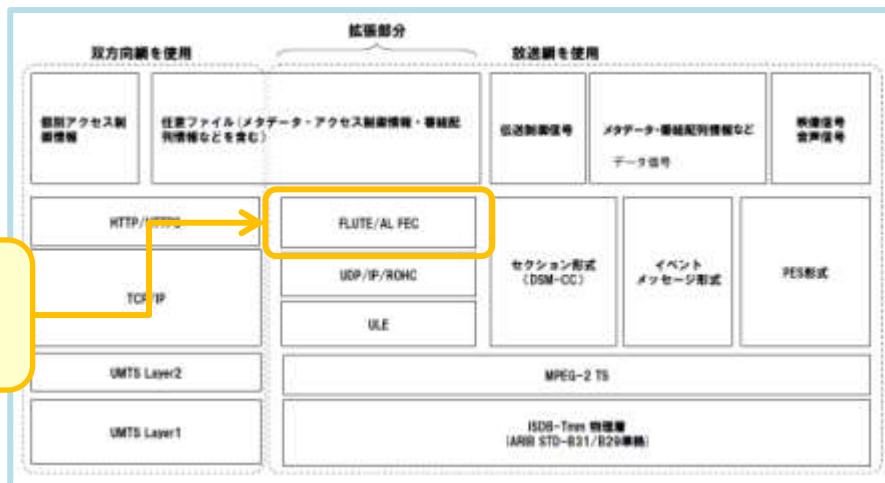
ORION-IEとは

放送波/光ファイバー/ケーブルテレビ等の片方向デジタル伝送路を活用してIPパケットを送信する仕組みは、IPデータキャスト（IPDC）と呼ばれており、固定受信および移動型受信での市場展開が各国で始まっています。NEXTWAVEの「ORION-IE」は、IPデータキャストで最も基本的なファイル配信プロトコルであるFLUTEプロトコルに準拠し、アプリケーションレイヤーでの片方向誤り訂正(FEC)や、ファイル蓄積PROXY、ストリーミングPROXYを組み合わせた、総合的なIPデータキャストソリューションです。

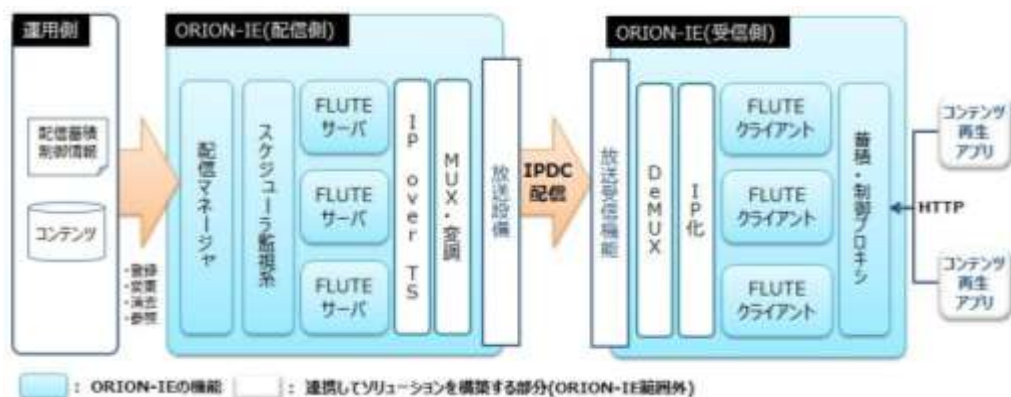
【参考資料】

ISDB-Tmmのプロトコルスタック：
 情報通信審議会 放送システム委員会 マルチメディア
 放送システム作業班
 『携帯端末向けマルチメディア放送システム
 ISDB-Tmmの概要』

ISDB-Tmmデジタル放送方式では、FLUTEを利用したIPによる蓄積型放送サービスが行える仕様となっております。



ORION-IEソリューション概要



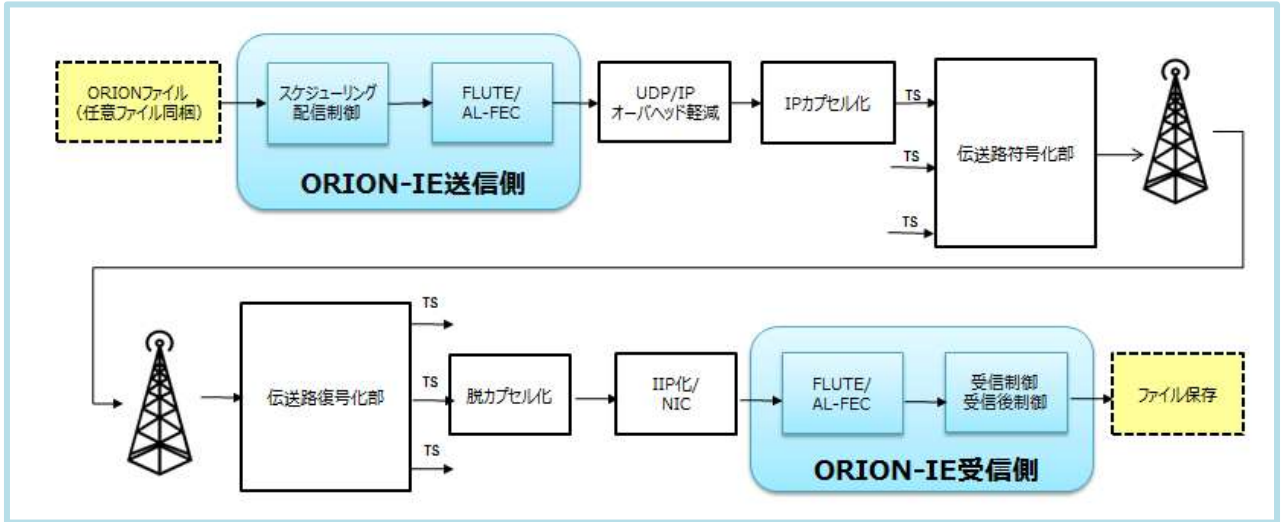
ORION-IEの3つの特徴

特徴	内容
特徴1： FLUTE配信機能	<ul style="list-style-type: none"> ・弊社にてRFCに準拠したFLUTE実装を実施。機能拡張依頼やサポート依頼に柔軟に対応可能。 ・他ベンダーのFLUTE実装と相互運用テストを実施。 ・FDT配信間隔や、データの繰り返し配信数、配信間隔を設定可能。 ・配信ファイル名の日本語化に対応。 ・詳細な配信経過ログの取得が可能。 ・FDTインスタンスとファイルオブジェクトの伝送を連携し、バーストの防止と帯域利用の効率化を実現。 ・V-High帯マルチメディア放送(ISDB-Tmm)への早期対応。 ・FDTインスタンスとファイルオブジェクト伝送の連携による、バーストの防止と帯域利用の効率化
特徴2： 配信管理機能	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細な配信スケジュール設定（開始、終了日時指定） ・配信状況をWEB画面で確認 ・FLUTEのログをWEB画面で確認 ・FLUTE配信の死活監視、通知機能 ・WEB画面からの配信設定（パラメータ手動入力方式）と、パッケージファイルのアップロード（配信計画パッケージング方式）の両方に対応
特徴3： 受信側機能	<ul style="list-style-type: none"> ・蓄積制御プロキシを配置し、WEBに対応したビューアであればサービスの提供が可能です。 ・蓄積制御プロキシの機能追加により、配信後のコンテンツに対しての制御など拡張できます。

放送環境との接続

ORION-IEの配信機能は、設定された配信計画に従い、ネットワークに対して、IPマルチキャスト配信を行う機能を持っています。

ORION-IE受信機能は、放送にて配信されたIPが流れるインターフェイスから、FLUTEパッケージを受信し、ファイルの再構築とその制御を行います。

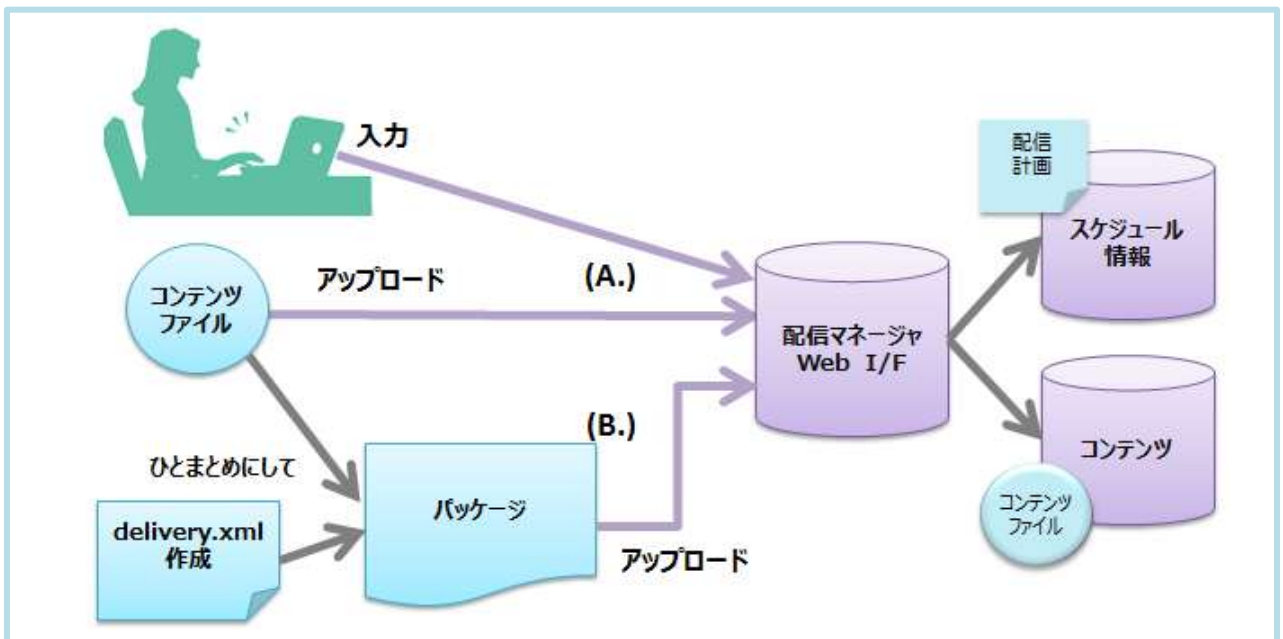


放送環境との接続機能ブロック例

※白抜き部分はORION-IEの基本構成範囲外ですが、接続実績のある適切な放送機器等をご提案します。

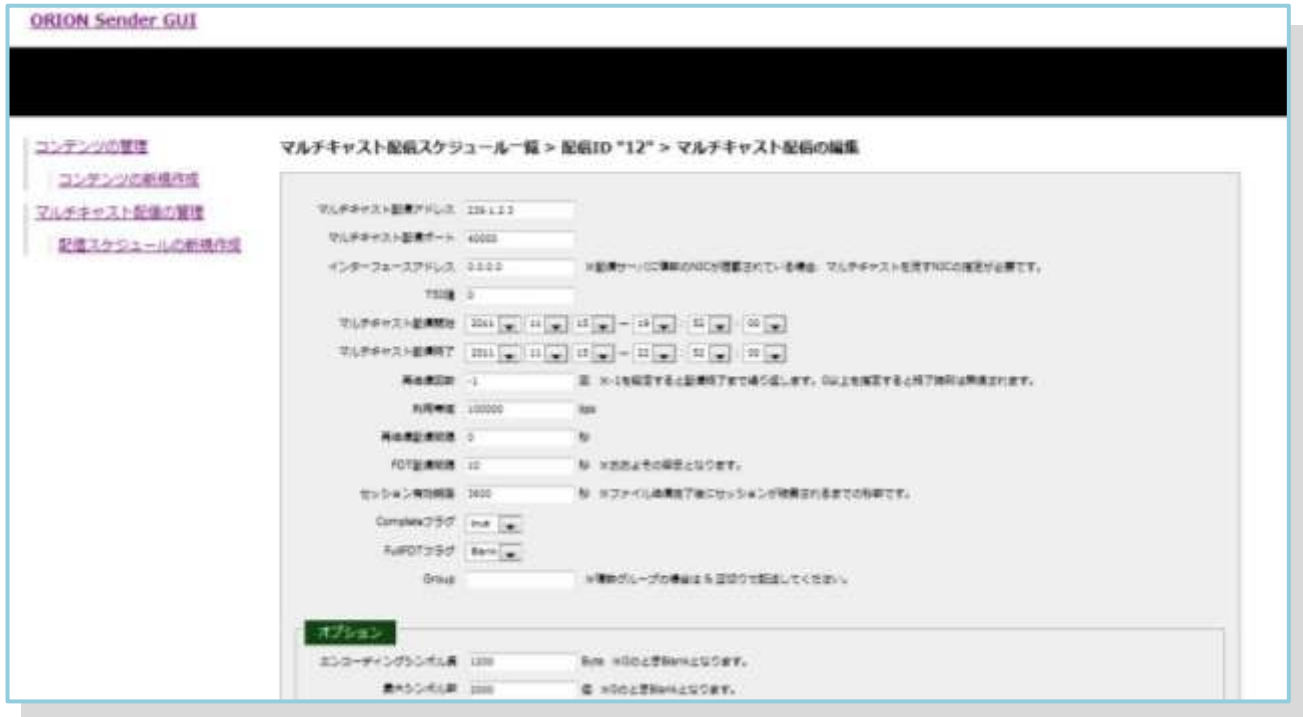
配信側の運用手順

配信マネージャはWEBアプリケーションになっており、配信のスケジュール設定画面から各種パラメータを設定して配信する「パラメーター手動入力方式」と、delivery.xmlという配信計画を記載したXMLと、配信するコンテンツをパッケージし、WEBアプリケーションにアップロードする事で、配信スケジュールを設定する「配信計画パッケージング方式」があります。



配信設定画面

ORION-IEの配信マネージャの配信スケジュール設定画面例です。ORION-IEの基本構成にこのような設定画面が含まれていますが、システム本体と設定画面は分離されているため、お客様にて独自の配信管理画面を作成いただいたり、既存のCMS（コンテンツマネジメントシステム）と連携する等、お客様のニーズに合わせた柔軟なシステム環境の構築が可能です。



システム構成

実行環境

■ ORION-IE送信側

Linux (CPU x86 x64) → CentOS5.4にて動作確認
Windows (CPU x86) → XP, Vista, Win7にて動作確認

■ ORION-IE受信側

Windows (CPU x86)
Linux (CPU x86 x64)
Android OS 1.6 以上

※動作確認済み機種についてはお問い合わせください

必要なソフトウェア・ライブラリ

■ ORION-IEのFLUTEに必要なライブラリ
expad 1.95以上

ORION-IEが選ばれる理由

ORION-IEは新しい放送方式への対応はもちろん、進化する各種の通信方式でのマルチキャスト配信にも対応し、マルチネットワーク型のシステム構成を実現できます。

またFLUTE/AL-FECに対応した日本初のシステムで、放送局様をはじめ、幅広くご支持をいただいております。

◆ ORION-IEに関するお問い合わせ

株式会社ネクストウェーブ

〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-5 赤坂アビタシオンビル6F

Email : info@nextwave.jp homepage : <http://www.nextwave.jp>